

【資料6】 2学年生徒の記録

(1) 授業後の感想と発問に対する答えの理由

	D	E
群馬発！世界を支える技術	<p>ホッチキスの針を福祉施設で箱詰めしているなんて驚いた。社会貢献のために色々するんですね。企業も大変そうです。国内シェアが75%はすごいと思いました。よく分かりました。群馬県すごい！</p> <p>(発問なし)</p>	<p>社会科の授業でここまで群馬の工業を詳しく教えてもらったのは初めてで面白かった。説明が詳しいと、どれが重要で覚えなくてはいけないかわかりにくいので不安がある。</p> <p>(発問なし)</p>
	<p>資料を読んで分かったことなのですが、新エネルギーの量は絶望的なのですね。20倍にしても1.4%。地球のことを考えると電気の量ができない。難しい問題だ。</p> <p>(新エネルギーを増やす、を選択) 電気料を減らすのは難しい。たいした力にはならないけど、無駄なくエネルギーを作るべきだ。電気の使用も無駄なくすべき。</p>	<p>今日の授業で扱った問題は一人が何をしようとしてもどうにもできないことだけど、一人一人が何かしないとできないことだ。矛盾していると思った。あと何年かかってもしないから、人類がある限り地球に住みたい。</p> <p>(新エネルギーを増やす、を選択) 電気使用量を減らすと今までの便利さを捨てることになり、人にはそれができない。太陽光などは天変地異が起きない限りずっとあり続ける。他の発電だと資源に限りがある。</p>
工業立国・日本の特色	<p>日本は円高でこれからどうしたらいいのだろうか？と、とても悩んでいる。技術で安さに勝つ！日本にはそれができる。そのために勉強をして技術力アップが大切だと思った。</p> <p>(低賃金労働者を雇用、を選択) 日本人をあまり雇えないが、外国に工場を移転するより、まだ多く雇える。質を落とさたくないし、値段も高くしたくない。多少問題があるが一番妥当。</p>	<p>工業って難しいと思った。技術面ではなかなか外国に出るのは難しく、日本全体に関わってくるものだと思った。働いている人の定年を上げるべきでは。</p> <p>(高品質生産、を選択) 値段が高い分だけ丈夫で使いやすい、見た目がよければ買っても損はない。日本人の不景気なくらい思考を食い止められる。外国に技術を獲られる。円高だったらいい原料を輸入できる。</p>
	<p>昔は魚介類の国内自給率が110%あったが、今では46%にまで下がってしまった。魚が減っている証拠だと思った。これからどうなる日本の魚！</p> <p>(A食べられるうちにどんどん食べる、を選択) 好きなだけ食べたい。養殖では味が落ちる可能性がある。</p>	<p>マグロは食べられて当たり前。お寿司でも全てのネタをずっと食べられると思っていた。これだけ輸入があり、乱獲で危機に陥っていたことは知らなかった。獲ってばかりの人間だから、今度は海へ何か与えないといけないと思う。</p> <p>(C養殖の技術に期待する、を選択) 養殖は減るものではなく、増やすものなので、どんどんできればそれだけ食べられる。今の技術には期待できる。</p>
日本の食糧自給率を考える	<p>自給率がそのままいいなんてことは絶対はないと思っていた。みんなの意見を聞くと、場所がないとか、文化は文化だとかいう意見があり、そのままいいに傾きそうになった。でも、やはり上げた方がよい。</p> <p>(上げた方がいい、を選択) 輸入を続けるにしても止めるにしても、自給率は上げた方がよい。外国に頼っていると、自国の力だけでどうにかしなくてはならないときに、どうしようもなくなってしまう。自分の力で生活できるようにしていこう。</p>	<p>自己のわがままは自分に返ってくるのだと思った。和食は苦手だが、少しでも食べて日本のものを大切にしたい。</p> <p>(上げた方がいい、を選択) 外国からの輸入が絶えたり減ったりして、肉や刺身、お寿司、スパゲッティが食べられなくなるなんて耐えられない。今後、嫌いなパセリやセロリ、ナス、ネギを食べられるようになりたかった。</p>
	<p>高崎の商店街も、さびれている。何か暗い感じで行きたいと思えない。近くは商店街では激安八百屋がありそこには時々行く。やはり安さがポイントなのか？</p> <p>(理由の記述なし)</p>	<p>市街地活性化のコンセプトは漠然としすぎて、私たちの目には見えにくい。もっと宣伝し、分かりやすい活性化してほしい。</p> <p>(理由の記述なし)</p>
復興計画 地元商店街	<p>高崎の商店街も、さびれている。何か暗い感じで行きたいと思えない。近くは商店街では激安八百屋がありそこには時々行く。やはり安さがポイントなのか？</p> <p>(理由の記述なし)</p>	<p>市街地活性化のコンセプトは漠然としすぎて、私たちの目には見えにくい。もっと宣伝し、分かりやすい活性化してほしい。</p> <p>(理由の記述なし)</p>

注：枠の上段が授業後の感想、下段が発問に対する答えの理由を表す。

(2) 2年授業の郷土教材と意志決定をする学習活動

	興味・関心・意欲を高める郷土教材	意志決定をする学習活動(発問と選択肢)
支那・世界	群馬県にゆかりのある世界的な企業や技術(マックスのホッチキス製造を中心に、CD-R、自動車金型、冷凍冷蔵用ショーケースの開発・製造した企業)	
世界の資源と日本	上毛カルタの札に描かれていた、佐久発電所のサージタンク 県内に多い水力発電所と、 県内でも少ないエネルギー自給率 県内外の電気がとある、学校近くの送電線 県内で取り組まれている新エネルギー事業 (吉岡町の風力発電、伊勢崎浄化センターのバイオマス発電、榛名町のゴミ発電)	どのエネルギー政策がよいと考えますか？ 1. 一人一人の電気使用量を半分にする 2. 電気の使用量はそのままに、火力発電所を増やす。 3. 電気の使用量はそのままに、水力発電所を増やす。 4. 電気の使用量はそのままに、原子力発電所を増やす。 5. 電気の使用量はそのままに、風力や太陽光など新エネルギー発電を増やす。
工業立国日本の特色	全国で活躍する、県内の企業スポーツチーム (富士重工の野球と駅伝、三洋電機のラグビー、ルネサステクノロジーと太陽誘電のソフトボール) 全国平均を上回る、県内の登録外国人の比率	円高になりました(輸出には不利で、輸入には有利です)、あなたが自動車製造会社の経営者なら、どのような対策がよいと考えますか？ 1. 労働力の安い海外に工場を移転し、安く生産する 2. 賃金の安い人(外国人やパート、アルバイト)を多く雇い、安いものを生産する 3. 労働者の給料を下げたり、安い原料を輸入したりし、国内で安いものを生産する 4. 国内向けに、値段は高いが品質の高いものを生産する
日本の水産業	県の漁獲高の低さと環境条件 コイの生産と環境条件	マグロが食べられなくなったらどうする？ あなたは、とてもマグロが好きだと仮定します A: 食べられるうちにどんどん食べる B: マグロは食べずに、他の魚を食べて我慢する C: 養殖の技術に期待する(養殖物が出回ったら、どんどん食べる)
給率を考える	日本の食糧自給率を考える 郷土料理(おきりこみ、焼きまんじゅう)・和食と地元産食材の関連と自給率の低さ 食糧自給率向上政策と関連した、県内の地産地消の動き(地元産食材の給食、すくすくカルタ)	食糧自給率はそのままでもよいか？上げた方がよいか？ 1. そのままでよい 2. 上げた方がよい
復興計画	地元商店街 身近にある外資系小売店(コーヒーショップ、玩具店)と輸入品小売店 業績の好調な郊外型大規模小売店(家電、総合スーパー、ショッピングセンター、ホームセンター) 前橋市街地中心商店街と「にぎわい課」	前橋市の環境条件を生かして、商店街をにぎわわせるための方策を考えよう！！

実践授業の構想図の具体例(「日本の食糧自給率を考える」の場合)

導入	郷土教材	学習への興味・関心を高める	郷土料理・和食 地元で取れる食材を使用していることに気付く 和食「天ぷらそば」の自給率を予想 和食や郷土料理の材料でさえ、海外へ多く依存していることに気付く
展開	社会的事象を調べる活動	内部情報・知識を蓄積する	・主な食料の自給率について、統計資料を調べる活動 ・食糧自給率の現状や課題の説明を聞く活動 多くの食料を海外に依存していること、どんな課題があるか理解する
	意志決定する学習活動	当事者意識をもって考える	「食糧自給率はそのままでもよいか？上げた方がよいか？」を考える活動 学習したことをふまえ、根拠を明確にして、自分なりに考える
まとめ	郷土教材	社会へかかわろうとする意欲を高める	食糧自給率に関連した、県内の「地産地消」の動き 県内でも自給率向上に向けた動きがあることを知り、食糧自給率のことを考えていく、自分の食生活を見直すなどの意欲を高める